

令和元年東日本台風 災害復旧

国道349号 ^{まるもり}丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」

～令和7年度に開通予定～

令和元年東日本台風(台風19号)からの災害復旧として、国道349号 ^{まるもり}丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」(延長6.0km)の工事を進めておりますが、この度、全てのトンネルが貫通したことから、今後の工事を含めて工程を精査した結果、**令和7年度に開通する見通し**となりました。

また、隣接する国道349号 ^{いさざわ}五十沢工区(^{かぶとぼし}兜橋～県境)(延長0.3km)も合わせて開通する見通しとなりましたので、お知らせします。

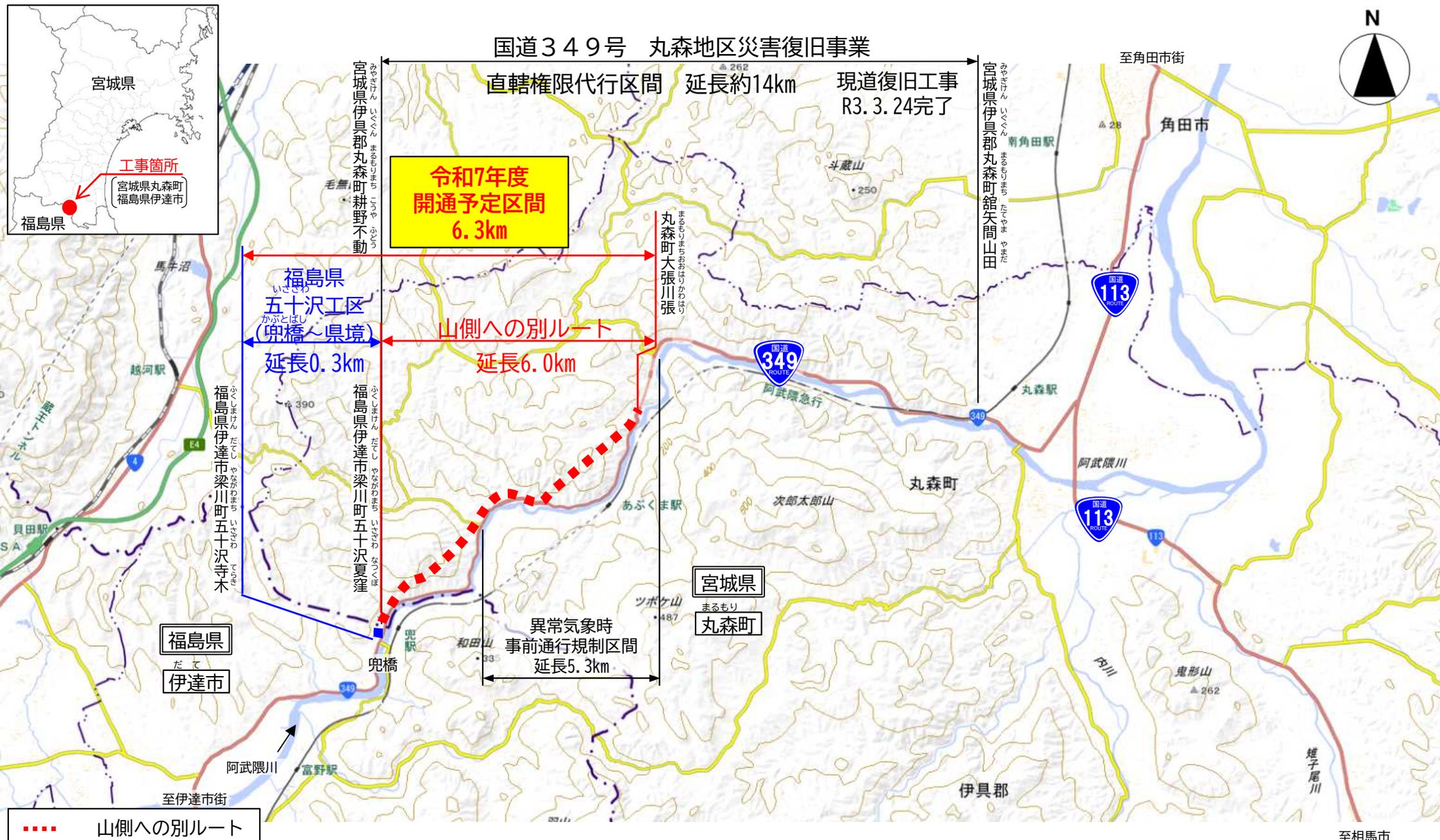
- 令和元年10月12日の東日本台風(台風19号)で被災した宮城県 ^{まるもり}丸森町内の国道349号(延長約14km)については、令和元年10月29日から国の権限代行により災害復旧事業を実施しており、国道349号現道の復旧工事は令和3年3月24日に完了しています。
- 被災が大きく、現道の課題が大きい ^{まるもりまちこうや}丸森町耕野～ ^{おおほりかわほり}大張川張間(延長約8km)は、再度災害防止のため「山側への別ルート」で本復旧を進めています。
- 令和5年度からは、隣接する ^{いさざわ}五十沢工区(^{かぶとぼし}兜橋～県境)を福島県から受託し、国土交通省にて県境を越えて一体的な整備を進めています。
- 引き続き、早期完成に向けて工事を推進して参りますので、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

<発表記者会> 仙南記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会
福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

【お問い合わせ先】

国土交通省	東北地方整備局	宮城南部復興事務所	副所長	^{つちだ} 土田 ^{まさる} 優
	電話	0224-52-8290 (代表)	内線	205
宮城県	大河原土木事務所	副所長(技術担当)	^{あがつま} 我妻 ^{けんいち} 賢一	
	電話	0224-53-3111 (代表)	内線	504
福島県	県北建設事務所	事業部 主管兼事業部長	^{あづま} 吾妻 ^{けいいち} 敬一	
	電話	024-521-2542 (直通)		

位置図



至相馬市

工事進捗状況

改良工事施工中



(仮) 1号トンネル起点側 (伊達市側) (R6. 8. 22貫通) (仮) 第1号橋 (R6. 7完成)



舗装工事施工中



令和6年10月末時点

令和7年度開通予定区間 6.3 km



— (国交省施行) 山側への別ルート 6.0km

— (福島県から受託工事により、国交省施行) 五十沢工区 (兜橋～県境) 0.3km

凡例

	: 台風19号浸水範囲	
	: 台風19号被災箇所	
	: 県立自然公園(第3種特別地域)	

現場状況写真

【事業による効果】安全・安心の確保

- 国道349号は、令和元年東日本台風（台風19号）により山側からの土砂崩落や路肩決壊などの被害が発生。
- また、丸森町耕野不動～大張川張間の約8kmは特に被災が大きく、阿武隈川に沿った急峻・狭隘な地形のため幅員狭小や線形不良箇所が断続的に続き、交通の安全性など現道の課題が大きい区間。
- 山側への別ルートへの整備により、被災箇所や現道の課題箇所を回避し、再度災害防止による地域の安全・安心を確保。

■現道部の課題箇所



<国道349号現道の状況>

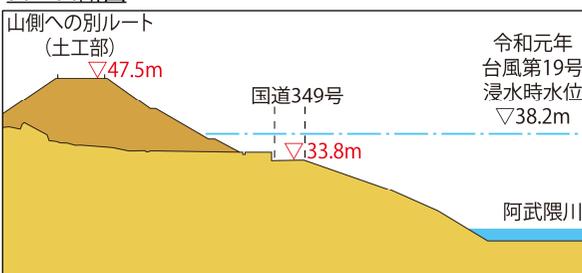


■令和元年東日本台風による被災状況写真



■山側への別ルートは、高台へ整備

⇒山地部は、トンネル整備により、土砂災害等に対する安全性向上
 ⇒盛土・橋梁整備により、道路への冠水を回避



■完成イメージ



「(仮)第2号橋」付近の完成イメージ